



ブラザー工業<6448>、MUTOHホールディングス<7999>をTOBで完全子会社化



プリンター大手のブラザー工業は、業務用大判プリンターを製造するMUTOHホールディングスを子会社化し、産業用プリンター領域の製品ラインナップを拡充する。また、両社の経営資源を活用することで、グループ全体で開発力やコスト競争力、企業価値などの向上を図る。

一方のMUTOHホールディングスは、中核事業の販売台数が減少傾向にあることを踏まえ、製品・技術力の強化などの構造改革が必要だと判断した。

買付代金は約350億円。買付価格は1株につき7626円で、公表前営業日の終値2962円に対して157.46%のプレミアムを加えた。

買付予定数は458万9644株で、下限は所有割合66.29%にあたる304万2700株。買付期間は2026年2月5日～3月23日までの30営業日。決済の開始日は3月30日。公開買付代理人はみずほ証券で、復代理人は楽天証券。

MUTOHホールディングスはTOBに賛同し、株主に応募を推奨している。TOB成立後、同社は東証スタンダード市場への上場が廃止となる。

MUTOHホールディングスは1952年に武藤目盛彫刻として創業。1983年に東証2部に上場し、85年に東証1部に移行（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。2007年に持ち株会社体制へ移行し、現社名に変更した。